

社会資本総合整備計画
(都市再生整備計画) 事後評価シート
城南・雨ヶ谷地区

平成27年3月

栃木県小山市

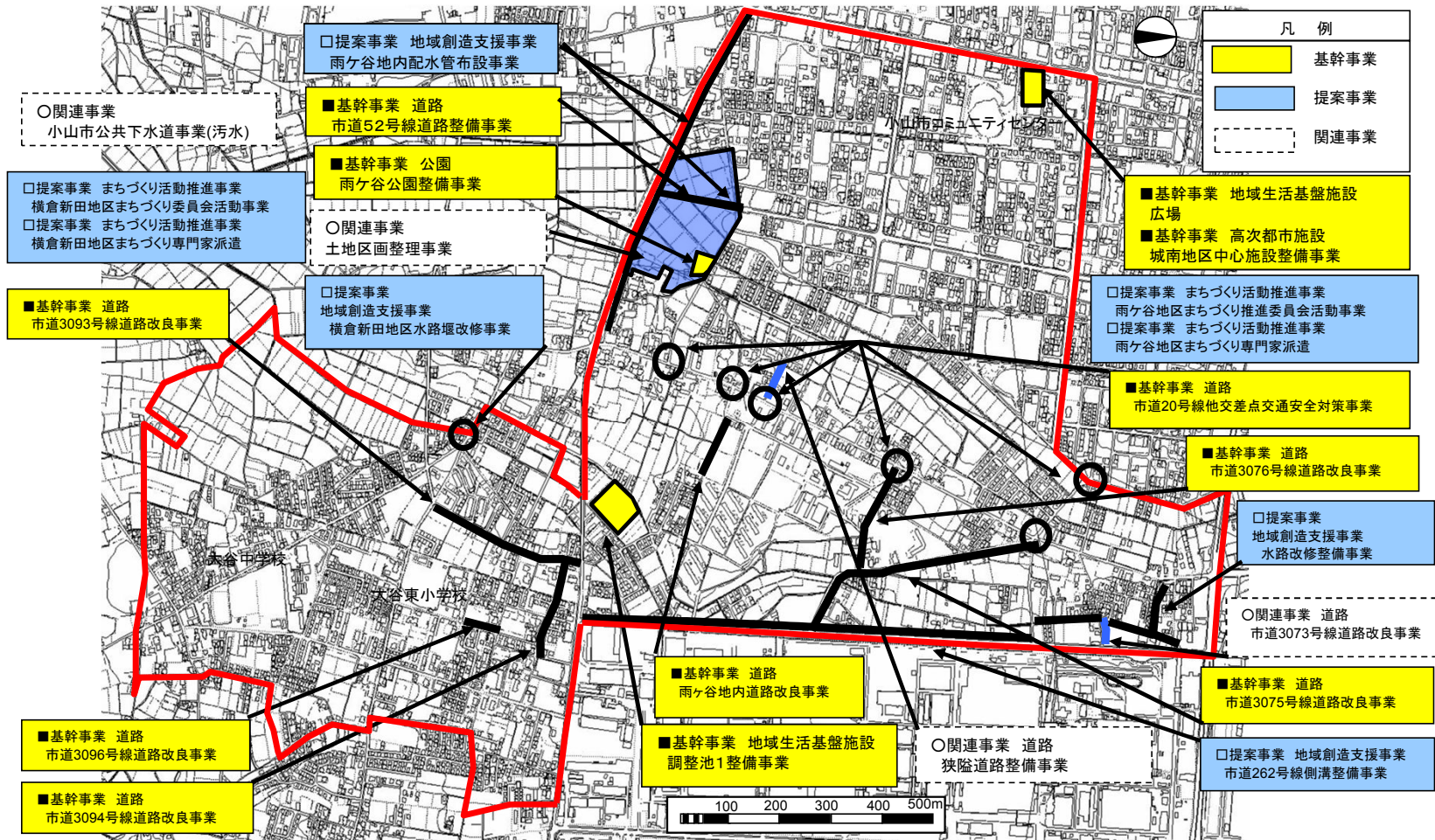
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	小山市		地区名	城南・雨ヶ谷地区			面積	約286ha		
交付期間	平成22年度～26年度		事後評価実施予定時期	平成26年度		交付対象事業費	1,587.9 百万円		国费率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道3075号線道路改良事業、市道20号線他交差点交通安全対策事業)、地域生活基盤施設(広場、調整池1整備事業)、高次都市施設(城南地区中心施設整備事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(水路改修整備事業、雨ヶ谷地区内配水管布設事業)、まちづくり活動推進事業(雨ヶ谷地区まちづくり推進委員会活動事業、雨ヶ谷地区まちづくり専門家派遣事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	地域生活基盤施設(調整池2整備事業)					指標3の数値目標を変更した。					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道52号線道路改良事業、市道3093号線道路改良事業、市道3094号線道路改良事業、市道3096号線道路改良事業、市道3076号線道路改良事業、雨ヶ谷地区内道路改良事業)、公園(雨ヶ谷地区公園整備事業)		事業区域の拡大見直しによる追加。			指標2の数値目標を変更した。					
		提案事業	地域創造支援事業(市道262号線側溝整備事業、横倉新田地区内水路堰改修事業)、まちづくり活動推進事業(横倉新田地区まちづくり推進委員会活動事業、横倉新田地区まちづくり専門家派遣事業)		事業区域の拡大見直しによる追加。								
交付期間の変更	当初変更	平成22年度～平成26年度	平成 年度～ 年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区の公共サービスの利便性	%	基準年度	H21	目標年度	H26	モニタリング	評価値	37.4	○	あり	城南地区中心施設の整備により、世代間の交流や健康・ふれあいの拠点として、市民活動の活性化と地域コミュニティの形成に寄与している。
				従前値	16.2	目標値	28				なし		
				達成度									
指標2	道路の交通安全性	%	基準年度	H21	目標年度	H26	モニタリング	評価値	45.4	○	あり	道路改良整備や交差点交通安全対策等により、安全で安心な交通ネットワークの形成が図られ、交通の利便性と安全性、歩行者の快適性が向上した。	
			従前値	32.1	目標値	39				なし			
			達成度										
指標3	大雨時における浸水に対する安全性	%	基準年度	H21	目標年度	H26	モニタリング	評価値	60	○	あり	調整池1整備により、大雨時における浸水被害が低減され、生活環境の改善と防災性の向上が図られた。	
			従前値	50.3	目標値	54				なし			
			達成度										
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	自動車の平均走行速度	km/時間	従前値	41.4	H21	目標年度	38.5	38.5	○	あり	市道20号線他交差点交通安全対策により、自動車の走行速度が低減され、交通の安全性が向上した。	
				基準年度							なし		
				達成度									
その他の数値指標2	自動車の交差点進入速度	km/時間	従前値	45.2	H21	目標年度	32.1	32.1	○	あり	市道20号線他交差点交通安全対策により、自動車の走行速度が低減され、交通の安全性が向上した。		
			基準年度							なし			
			達成度										
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた									
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
住民参加プロセス	雨ヶ谷地区まちづくり推進委員会活動事業		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
	横倉新田地区まちづくり推進委員会活動事業		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				「雨ヶ谷地区まちづくり構想」及び「横倉新田地区まちづくり構想」の実現に向けて、市民との協働によるまちづくりを推進する。						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	雨ヶ谷地区まちづくり推進委員会活動事業		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
	横倉新田地区まちづくり推進委員会活動事業		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				まちづくりネットワーク雨ヶ谷及び横倉新田地区まちづくり推進協議会との意見交換及び調整を継続的に実施していく。						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

雨ヶ谷・城南地区(栃木県小山市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
地域の交流とふれあいのある、安全で安心して暮らせる住みよいまちを実現する。 目標1: いろいろな世代の交流や健康・ふれあい拠点を活かした、市民活動の活性化と豊かなコミュニティを形成する。 目標2: 安全で安心な交通ネットワークの形成により、交通の利便性と安全性、歩行者の快適性を向上する。 目標3: 生活環境の改善と防災性の向上により、安全で安心して住み続けることができる快適な居住環境を形成する。	地区の公共サービスの利便性	単位: % 16.2	H21 H26	28 H26 37.4 H26
	道路の交通安全性	単位: % 32.1	H21 H26	39 H26 45.4 H26
	大雨時における浸水に対する安全性	単位: % 50.3	H21 H26	54 H26 60 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・城南地区中心施設の整備により、利便性の高い地域の拠点的な施設が創出され、世代間の交流や健康・ふれあい、市民活動の場となっている。 ・市道52号線や生活道路(狭隘道路)の拡幅整備により、交通の利便性と安全性が向上した。 ・市道の改良整備や交通安全施設整備により、歩行者の安全性が向上した。 ・雨ヶ谷公園や調整池1等の整備により、生活環境の改善と防災機能が図られた。 ・地区内には、他にも未整備の都市計画道路や生活道路(狭隘道路)があることから、計画的な整備が必要である。 ・計画的な市街化の誘導と快適な居住環境の創出を図るとともに、良好な景観形成や街並みづくりを促進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な観点から公共施設の維持管理を図る。 ・利便性の高い道路ネットワークの形成と快適な居住環境の創出に向けて、都市計画道路及び市道改良整備等に係る用地買収など地区住民や関係権利者等との協議・交渉、まちづくりに関する地域住民への情報提供や周知の徹底など地元合意形成を図る。